

松江おもしろ談義 ―歴史をたずねる・美術にたしむ―【無料】

学芸員等による松江の歴史と美術に関する講座です。(詳しいテーマ等については随時ホームページでご案内します。)

場 所 館内 歴史の指南所

と き 毎月日曜日 14:00～15:00

4/1 (※この日のみ10:00～11:00)、5/13、6/3

7/15、8/19、9/16、10/13 (※この日のみ土曜日)、11/4、12/9、1/20、2/10、3/10



イベント

火縄銃の演武と居合切り

【観覧無料】

松江城鉄炮隊・松江姉さま鉄炮隊が、火縄銃による鉄炮演武と日本刀による居合切りを披露します。大迫力の演武を間近でご覧ください。

場 所 敷地内 暮らしの庭、濡れ縁

と き 毎月第3日曜日
11:00～、14:00～
※悪天候時は中止



甲冑着付け体験 【要参加費】

甲冑を着て武者気分をあげられます。松江藩の合印・猪目のついた兜をかぶって記念撮影もどうぞ。

場 所 館内 玄関ホール

と き 5月5日(土・祝)、6月17日(日)、
8月12日(日)、9月15日(土)、
11月3日(土)、2019年1月1日(火・祝)、3月24日(日)

参加費 観覧券または年間パスポートの提示が必要



出雲弁こどもかるた大会

【参加無料】

出雲地方の方言・出雲弁で日常をユーモラスに詠んだ「出雲弁だんだんかるた」を使った小学生向けのかるた大会です。

場 所 館内 玄関ホール

と き 1月上旬



ご利用案内

開館時間

4月～9月 8:30～18:30、10月～3月 8:30～17:00
観覧受付は閉館30分前まで

休館日

毎月第3木曜日(祝日の場合は翌日)

展示観覧料(展示室以外は無料)

基本展示／大人 510円(410円)
小・中学生 250円(200円)

※()内は20名以上の団体料金

企画展示／内容により料金が異なります。

有料展示観覧の方は、松江ホーランエンヤ伝承館が無料でご覧頂けます。

年間パスポート

大人 1,540円 小・中学生 770円

※購入日から1年間、松江歴史館の基本展示と企画展示及び松江ホーランエンヤ伝承館が何度でも観覧できます。またミュージアムショップ線画および喫茶さきはるのご利用が5%引きとなります。

アクセス



P 専用駐車場あり(無料、徒歩1分) ※敷地内に障がい者専用駐車場あり

有料駐車場

- P1 松江城大手前駐車場……………徒歩3分
- P2 タイムズ一畑殿町駐車場……………徒歩4分
- P3 島根県民会館有料駐車場……………徒歩5分
- P4 城山西駐車場……………徒歩13分

松江城大手前駐車場と城山西駐車場は割引特典あり。

おもてなし駐車場(無料)

- P5 松江商工会議所駐車場……………徒歩3分
- P6 島根県庁駐車場……………徒歩7分
- P7 島根県庁東庁舎駐車場……………徒歩7分
- P8 島根県庁南庁舎駐車場……………徒歩9分
- P9 島根JAビル駐車場……………徒歩8分
- P10 島根県職員駐車場……………徒歩10分

※おもてなし駐車場は土日祝のみ利用可能。
※各種行事の際はご利用いただけない場合があります。

バス(松江駅から)

- ぐるっと松江レイクライン(観光ループライン)
約13分 1 大手前堀川遊覧船乗場・歴史館前 下車徒歩3分
- 一般路線バス
約9分 2 県民会館前 下車徒歩5分
約15分 3 塩見縄手 下車徒歩1分

※一般路線バスは、県民会館方面行き(松江しんじ湖温泉行き、島根大学、川津行きほか)をご利用ください。便により、「県庁前」「塩見縄手」を経由しないものがありますので、乗車時にご確認ください。

松江歴史館

展示・催し物のご案内

SCHEDULE

2018.4—2019.3



※予定はやむを得ず変更となる場合がございます。
※各種イベントのお申込みはお電話にて承ります。

●お問合せ先 〒690-0887 島根県松江市殿町279番地
TEL:0852-32-1607 FAX:0852-32-1611
<http://www.matsu-reki.jp/>

4.27(金)
～
6.10(日)

長澤蘆雪

—躍動する筆墨—

企画展



《龍図襖絵》部分 長澤蘆雪筆(西光寺蔵)

長澤蘆雪は、江戸時代後期に活躍した京都の絵師で、動物や人物などをユニークな姿に描く作風は、近年とみに人気を博しています。松江市上大野町にある臨濟宗の寺院・西光寺には、蘆雪の代表作「龍図襖絵」(市指定文化財)が伝わっています。本展は「龍図襖絵」の修復完成記念の初公開にあわせて、和歌山県の草堂寺や兵庫県の大乗寺に伝わる襖絵(いずれも重要文化財)をはじめ、県内の優品を一堂に展示します。

7.13(金)
～
8.26(日)

不昧公200年祭記念 松平不昧 —茶のこころ—

特別展



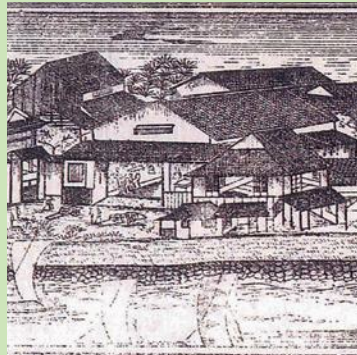
《大菊薬》原羊遊斎作(孤蓬庵蔵)

大名茶人・松平不昧は松江藩七代藩主で治郷といい、一般には不昧の名で知られています。藩財政を立て直す一方で茶の湯を極め、茶禅一味を唱え「諸流皆我が流」といって独自の茶道を目指しました。名物茶道具を調査、研究してまとめた『古今名物類聚』や『雲州蔵帳』の名で呼ばれる茶道具はその審美眼の確かさから高い評価を得ています。本展では自作の書画やお好みの茶道具、茶室など不昧の多方面にわたる足跡を紹介いたします。

9.7(金)
～
11.4(日)

不昧公200年祭記念 松江藩主松平治郷 (不昧)の藩政改革 —御立派の改革の成功—

企画展



人參役所(『山陰道商工便覧』より)

松平家松江藩七代藩主治郷(不昧)の功績は、茶道の世界にとどまるものではなく、むしろ、借財に苦しむ松江藩財政を好転させた点にこそ、藩主として優れていたことを示しています。父の代に失敗した藩政改革を、治郷は朝日丹波等の有能な家臣と共に成功へと導き、その後の出雲国内における産業振興の基礎を築きました。本展覧会では、茶道という文化的側面だけでなく、政治家としての松平治郷の功績を紹介します。

12.7(金)
～
1.14(月)

不昧公200年祭記念 細川護熙「美の世界」 ～薬師寺奉納障壁画と茶陶～

特別展



細川護熙氏作品制作風景

不昧公200年祭を記念して、元総理大臣の細川護熙氏が2019年春に奈良・薬師寺の「慈恩殿」に奉納する障壁画の一部と選りすぐりの茶陶を展示します。世界遺産の薬師寺は、680年に第40代天武天皇が皇后の病氣治癒を祈り建立が発願され、寺内には慈恩殿が玄奘三蔵院伽藍に寄り添うように建っています。細川氏は2012年秋に慈恩殿の障壁画制作の依頼を受け、7年をかけて66面を描き上げました。本展では、氏の美意識が作り上げた障壁画や茶陶の逸品を紹介いたします。

2.8(金)
～
3.24(日)

あいおいニッセイ同和損保所蔵 椿コレクション 展

特別展



《紅椿図団扇》尾形光琳筆(あいおいニッセイ同和損保蔵)

万葉集にも歌われ、古より日本人に愛されてきた椿は、冬から春にかけて花をつけその色や姿もさまざまで、茶の湯の茶花としても好まれます。美術の分野でも多くの作家が画題に取り上げ多彩な表現が見られます。椿に魅せられた収集作品から、近世の尾形光琳の絵画と工芸品をはじめ近代日本画では横山大観、小倉遊亀、橋本明治、洋画では岸田劉生、そして尾形乾山や北大路魯山人の工芸品など約50点をお楽しみいただきます。

国宝松江城天守祈禱札の実物展示

松江城天守は平成27年(2015)7月8日に国宝に指定されました。天守完成時期を明らかにし、国宝指定の決め手のひとつとなった祈禱札(国宝附指定)の実物を展示します。



場 所
館内 基本展示室

期 間
8月1日(水)～
8月31日(金)

■スポット展示(基本展示室・最終コーナー 要基本展観覧券)

3.16(金)→5.16(金)

八雲塗を支えた松江の画家
—室田湖山と小村成章—

5.18(金)→7.18(金)

若槻禮次郎コレクション展①

7.20(金)→8.31(金)

江戸初期の武家の茶陶
—松江城下の重臣屋敷地出土品—

9.1(土)→9.30(日)

松江に残る江戸城図
—「江戸始図」と「今江戸図」—



若槻禮次郎



江戸始図

10.1(月)→11.14(金)

新収蔵資料展示
—松江藩士畑家の刀剣—

11.16(金)→1.16(金)

平塚運一が見た松江

1.18(金)→3.21(金)

松江が生んだ画工と写真家
—堀樸山・美峯・市郎の美術—



《鷹尾山嶺之展望》堀美峯筆

■ミニ展示(展示ホール・展示室前 観覧無料)

3.16(金)→4.18(金)

松江の大風—武者風—

4.20(金)→6.20(金)

龍の世界

6.22(金)→8.15(金)

松平不昧—茶のこころ
関連展示

8.17(金)→10.17(金)

役者絵



武者風



《龍図》狩野養川院雅信筆

10.19(金)→11.14(金)

若槻禮次郎
コレクション展②

11.16(金)→1.16(金)

細川護熙「美の世界」
関連展示

1.18(金)→2.20(金)

秘蔵の逸品・歌川広重の
花鳥版画

2.22(金)→3.21(金)

館蔵 椿コレクション展



《牡丹に孔雀》歌川広重筆